

授業科目 社会保障論 II

【担当教員名】 鈴木 未来	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		

【一般目標：G10】
 社会保障の総論的な内容を習得する。そのなかで、社会保障の制度設計の仕組みを理解する。
 理念と理念の拮抗や理念と現実との乖離（かいり）を習得する。
 歴史的な視点から社会問題と社会保障との関連を考察する。

【行動目標：SBO】

1. 現代社会における社会保障制度の課題について示す。
2. 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて説明する。
3. 社会保障の体系と概要について認識する。
4. 諸外国の社会保障の概要について説明し、討議する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	「社会保障論 II」への取組み（受講上の留意点）	1	講義 ※参考書：第3章第1節相当
2	社会保障の歴史 1	2	講義 ※参考書：第2章第1節相当
3	社会保障の歴史 2	2	講義 ※参考書：第2章第2節相当
4	社会保障の歴史 3	2	講義 ※参考書：第2章第2節相当
5	社会保障の概念と範囲	3	講義 ※参考書：第3章第2節・第3節相当
6	社会保障の意義と役割	3	講義 ※参考書：第3章第2節・第3節相当
7	生活のなかでの社会保障 1	1,3	講義 ※参考書：第8章第4節相当
8	生活のなかでの社会保障 2	1,3	講義 ※参考書：第6章第5節相当
9	生活のなかでの社会保障 3	1,3	講義 ※参考書：第6章第5節相当
10	生活のなかでの社会保障 4	1,3	講義 ※参考書：第5章第5節相当
11	社会保障の財源 1	3	講義 ※参考書：第4章第1節相当
12	社会保障の財源 2	3	講義 ※参考書：第4章第2節相当
13	社会保障の財源 3	3	講義 ※参考書：第4章第3節相当
14	社会保障をめぐる諸外国の動向と日本	4	講義 ※参考書：第12章相当
15	社会保障制度の可能性	1	講義 ※参考書：第11章相当

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	新・社会福祉士養成講座 12 社 社会保障	社会福祉士養成講座編 中央法規 集委員会	2010・2,600円＋税・掲載項目につ	いては、法改正等を意識すること。
その他の資料	授業で配布するプリントに、必要な資料を掲載する。			

【評価方法】 出席点と定期試験	【履修上の留意点】
--------------------	-----------